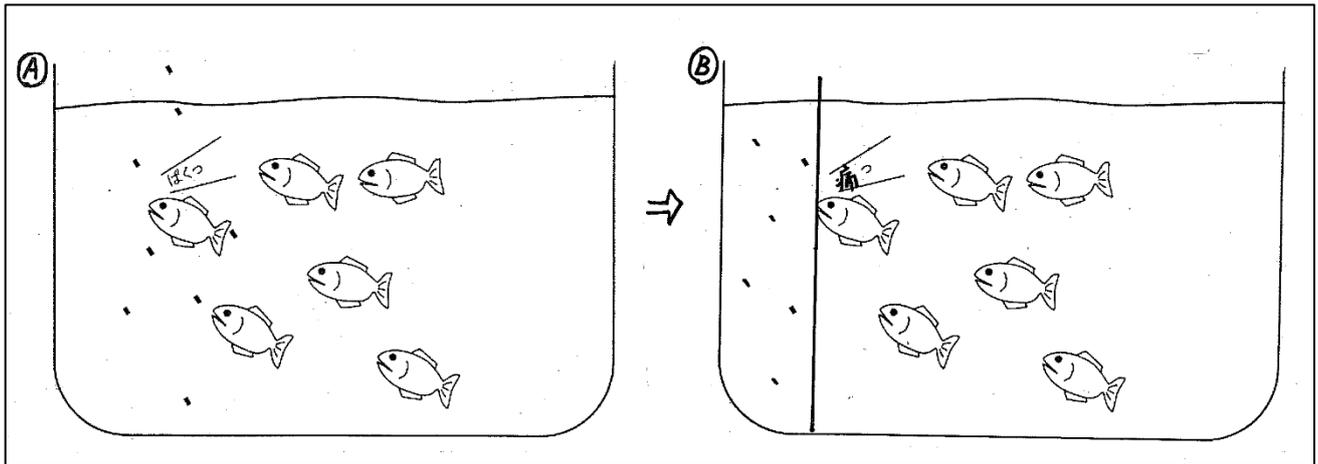




～ 大寒の一户も隠れなき故郷 飯田龍太～

『思い込み』よ、さようなら



『いつもは、えさを食べられる魚。でも、間に仕切りを入れられ壁にぶつかり一度、痛い思いをすると、仕切りをとった後も、もう用心深くなり餌のそばには近づこうとしなくなる・・・』

君たちも魚になってないか？

これは、1/10(日)に行われた次橋秀樹氏(京都芸術大学講師)の講演です(福井県進学サポートセンター主催)。日々の生活での失敗経験からの学びは実に大きい。しかし、つらく悲しい思いが残ると、新しいことや困難なことに挑もうとする志をなくしてしまうことにもなりがちです。

自分の内側いつの間にかできてしまった、「苦手だ」「嫌いだ」「どうせ・・・」「やめておこう」といった『思い込み』を捨て去りましょう。「わからない」「できない」と簡単にあきらめることなく、一つひとつ辛抱強く挑戦していけたら、今年一年きっと実り多い年になるはずです。 さあ、はりきっていきましょう！



～参加した生徒の感想より～

私は特に「早めに具体的な目標を持つこと」「人に答えをもらうのを待たずに自分で動く」という2点が心に残りました。講演の序盤はテストや模試で自分の実力を知り、具体的な目標を立てること、また自分の志望校に関して早めの対策を立てることの大切さについてでした。早めに対策を行うことで普段の生活での視野が広がるということを知り、私も実践しようと思いました。

後半は自分から積極的に行動することのメリットや重要性についてでした。私は自分の進路や学習面に関してあまり積極的ではないので改めていけないと感じました。

一つ一つに次橋さんの実体験やはっきりとした根拠がありどれもとても納得できるものばかりでした。受験生となる3年生の1年に向けて知ったことを生活にどんどん活かしていこうと思います。

1年生 SDGs レポート紹介

近年、教育や社会、文化面で広く話題に上がる SDGs。1年生普通科現代社会講座では、冬休み課題としてこの SDGs に関するレポートを課しました。内容は「SDGs のゴール（目標）から2つ以上を選択し、そのゴールに関する取り組みを調べる」といったものです。短い冬休みの中で、このレポート課題は後回しにされるのでは・・・と内心不安もありました。しかし、提出された作品の数々を見れば見るほど優秀な作品が目白押しでした。その中からいくつか取り上げて感想を述べたいと思います。

1 ホーム A さん

○ Society 5.0 が解決する課題

① 持続可能な産業化の推進・人手不足
SDGs に沿った持続可能な産業化の促進も Society 5.0 の重要なテーマである。Society 5.0 では、食糧生産やエネルギーサービス、物流に至るまで効率的で質の高いインフラが必要だ。背景には日本が抱えている少子高齢化に伴う人手不足がある。ここで活用されるのが IoT や AI である。

② 食料の増産やロス

まずは1ホームのAさん。SDGsのゴールから探るのではなく、「Society5.0」という大きな取り組みから解決できる課題を探究している

姿勢が見られます。レポートとしての形式も整っており、文句なしの出来でした。

2ホームのBさんはSDGsから福井県の企業の取り組みについてまとめています。

3ホームのCさんはSDGsから自分の住んでいる地域の取り組みについてまとめていました。どちらも世界や日本全域の取り組みから地域に目を向けている作品です。



2 ホーム B さん

日本アーツ株式会社の取り組みについて少し興味があるものがありました。その活動がPP素材に代わるペーパーエコファイルの製作しているということです。

にはSDGsという一つのきっかけから興味関心を伸ばし、探究活動やキャリアにも繋げていけると望ましいと思います。今後の1年生のさらなる探究の深まりを期待しています。



3 ホーム C さん

私が住む高浜町の若狭和田ビーチは、「ブルーフラッグ」に認定されている。ブルーフラッグとは、1985年にフランスで誕生した世界で最も歴史ある環境認証の一つで、水質、安全性、環境マネジメント、さらには教育に至るまで厳しく設けられた33もの基準をクリアしたビーチだけに与えられる勳章だ。すなわち、ブル

今回はこの③つを主に取り上げたが、⑩個すべて私たちの身の回りに存在し、私たちが多く関わっている。人ごとの様に接したり目の前のことを見てみ無ふりをして済ませるのではなく、一人一人が意識して生活することで、小さなことでも解決することができると思う。みんなで協力して取り組むからこそできるものはいくつもあると思う。まずは、自分のことだけで終わるのでなく、まわりを見て行動することが、SDGsを大切にすることのスタート地点に立てることと思う。

また、3ホームのDさんのようなかわいらしいイラスト付きで分かりやすくまとめているものもありました。どのホームも生徒の個性が溢れており、同時に深く調査・研究できているという印象でした。将来的

14 海の豊かさを守ろう。

問題 ... 海の資源の過度な消費
人間の生活による海の汚染
海の汚染による連鎖的に海生物の減少 etc...

対策
○ プラスチックの使用を減らす
例) レジ袋の有料化、ペットボトルのリサイクル

3 ホーム D さん

○ 減少中の海生物の保護と養殖
例) ウナギの保護、ウナギの養殖

○ IUU漁業の終了